

研究課題：全ゲノムのメチル化解析を用いた小児脳腫瘍の分子分類とその臨床的意義の検討

1. 研究の目的

小児脳腫瘍検体を、主にメチル化アレイを用いて、メチル化プロファイルおよびコピーナンバーの解析を行い、その分子遺伝学的情報の分析を行うと同時に、昨今報告されているメチル化プロファイルに基づいた分子診断結果を得て、その臨床的意義を明らかにします。

2. 研究の方法

凍結検体もしくは未染色標本から腫瘍 DNA を抽出し、得られた腫瘍検体 DNA に対し、Illumina 社の Human Methylation EPIC BeadChip を用いて網羅的メチル化解析を行います。解析で得られたデータを臨床情報、病理診断結果と照らし合わせ、臨床的検討を行う。

3. 研究期間

倫理委員会承認後から 5 年間

4. 研究に用いる資料・情報の種類

当院にて治療を行った脳脊髄腫瘍症例の腫瘍検体

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果については、学会・学術雑誌等で報告されることがありますが、その際には個人が特定できないように厳重に注意して行われます。

6. 研究組織

福岡 講平（埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 医長）
康 勝好（埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 科長兼部長）
荒川 ゆうき（埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 医長）
森 麻希子（埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 医長）
栗原 淳（埼玉県立小児医療センター脳神経外科 科長兼部長）
中澤 温子（埼玉県立小児医療センター臨床研究部 部長）
市村 幸一（国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野）

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ

下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、既に報告済の場合には対象から外すことが不可能になります。その場合にも、個人が特定されることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）